

誰しも一度は、「本当に“税金”って必要なの？」と考えたことがあるでしょう。私も昔は、“税金”と聞くと嫌なイメージを持ってしまっていました。

七年ほど前のある日、一〇〇円のおこづかいをもらった私は、うきうきしながら近くのスーパーマーケットに行きました。ところがほしかったおかしは一〇八円ばかりでほとんど買えなかったのです。しずんだ面持ちで家に帰ると、心配した母が

「みいちゃん、どうしたん？」

と私にたずねました。それで私は、今日あったことを事細かく伝えました。すると母は、

「そっか、消費税のことも考えて渡せば良かったなあ。」

“消費税”を初めて聞いた私は、

「消費税って何？」

と聞きました。母は答えてくれましたが、その頃の私には、あまり意味が分かりませんでした。でも、“税金”の嫌な記憶はずっと残っていました。

あの出来事から数年後、小学校で税金について学ぶ授業が始まった。そこで、私の“税金”に対するイメージが、大きく変わりました。特に、税金の具体的な使い道を知ったことが大きかったからのように思います。最初は少し憂鬱な気分であっていた私ですが、

「この学校にあるほんどの物が税金で作られているんだよ。」

という先生の言葉で「“税金”って凄い!!!」とイメージが一八〇度変わりました。

あの授業が無ければ、乏しい知識と少しの体験だけで“税”のことを判断したままだったのかと思うと、自分で払う税金が少ない内に、考えを改められたのはとても良かったと思っています。その時は、それで終わりましたが、今回この作文を書くにあたって“税”についてももう少し調べてみると、また新たな発見がありました。それは、“消費税”は広く公平に税金を負担しようという趣旨のものだということです。税で悲しい思いをした自分視点では、所得の無い子供等も払わなければいけないのにどこが公平なんだと言いたい気持ちをおさえて読み進めていくと、そこに答えはありました。

「収入が多いからと一方的に多くを支払わなければいけない所得税より、たくさん買った人が多くの税金を支払う消費税の方が意味公平だ。」  
なんだかしてやられた気分になりました。

悔しいですが、こうしてみると私の成長のとなりにはいつも“税金”がいました。苦い思い出もありますが、新しい発見をあたえてくれます。私にとって、“税”は『自由』です。税金によって守られている行動の自由はもちろん、私にとっては『自由な発想』というのもあります。だから私には“税金”が必要です。